琉球新報　2017年4月4日掲載

グッドデザイン賞を受賞した緑が丘公園のトイレと休憩スペース＝那覇市牧志の同公園

緑が丘公園トイレ・休憩スペース

グッドデザイン賞受賞

城間幹子那覇市長（左から4人目）にプレートを寄贈した国建の比嘉盛朋社長（同3人目）と設計した鮫島拓さん（同2人目）ら

那覇市牧志の緑が丘公園のトイレと休憩スペースがこのほど、2016年度のグッドデザイン賞に選ばれ、設計した国建（那覇市、比嘉盛朋社長）が表彰された。3月29日には国建が那覇市に受賞プレートを寄贈した。

賞は公益財団法人日本デザイン振興会の主催で、1957年に創設された。総合的なデザインの評価・推奨制度になっている。今回は全国から約4千件の応募があり約千件が受賞した。

緑が丘公園のトイレは休憩スペースと同じ日を基調としたデザインで、連続性があることが特徴。車の侵入を防ぐためのトイレや休憩スペースと同じようなデザインにそろえ、圧迫感を出さないよう工夫を凝らした。カフェが多い街と連続したデザインと、トイレ内に死角や密室をつくらないよう防犯にも配慮された設計が評価された。

設計は鮫島拓さんと宮里睦子さんが務めた。鮫島さんは「受賞はうれしい。街の雰囲気が続いていくように連続性をテーマにした。いろんな使い方ができると思う」と話した。プレートの寄贈を受け付けた城間幹子市長は「一日中楽しめる公園で、人と人とのつながりができる場になれば」と期待した。

沖縄タイムス　2017年4月11日掲載

受賞のトイレに銘板

グッドデザイン 那覇で報告会

グッドデザイン賞受賞を喜ぶ（左から）国建の宮里睦子さん、鮫島拓さん、比嘉盛朋社長、那覇市の城間幹子市長、上江洲喜紀建設管理部長＝3月29日、那覇市牧志

【那覇】市牧志の「緑ケ丘公園エントランススペース公衆便所」が2016年度グッドデザイン賞（主催・公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞し、その報告会が3月29日、同所であり、設計した国建が市に受賞プレートを寄贈した。

同所は13年に開かれたコンペで最優秀作品賞に選ばれた国建の鮫島拓さん（32）と宮里睦子さん（34）による設計案をベースに建築され、15年11月から利用が始まった。

防犯性や安全性を備えつつ、街と公園の際をトイレと一体的にしたデザインが評価され、昨年9月にグッドデザイン賞を受賞した。

鮫島さんは「小さい店舗が並ぶ通りの風景をイメージし、デザインした。街がよくなるきっかけになれば」。城間幹子市長は「市民が親しむ公園として箔が付いた。地域住民や観光客など、人と人がつながる場になってほしい」と期待を込めた。